

子供たちがふるさとをずっと好きでいてくれる
お年寄りがいきいきと活躍できるまちをつくりまします。

働ける場の創出と子育て環境整備に取り組み
少子化・人口減少傾向に立ち向かいます。

- ◎働きやすい環境と働ける場の創出
- ◎健やかな成長を育む子育て教育環境づくり
- ◎安心して通れる道路、通学路の整備



それぞれの地域特性を活かした
農業の再生に取り組んでいます。

- ◎農業と流通・観光産業との連携強化
- ◎施設園芸の近代化をすすめ雇用拡大につなげる



「開かれた議会」「信頼される議会」を目指し
議員相互の自由な討議を進めます。

- ◎市民にわかりやすい議会活動と広報の推進
- ◎議員相互の自由な討議の推進



介護福祉士・ケアマネの経験を活かし
福井型ケアサービスを提案しています。

- ◎医療と介護・地域福祉サービスの連携強化
- ◎認知症ケアの充実
- ◎福祉人材の確保と職場環境の改善



各地区の防災活動がより厚みのあるものとなるよう
防災機能の充実に取り組んでいます。

- ◎荒川未改修部分の早期完成
- ◎福祉・介護との連携による安心なまちづくり
- ◎自主防災組織や防災リーダーの育成



身近な地域の移動手段として
愛着の持てる交通体系を提案しています。

- ◎基幹バスとファーダーバス運行の利便性強化
- ◎低炭素社会に向けた交通体系の提案



泉かずや 検索

泉かずやの政策・取り組みは、こちらから。
<http://izumikazuya.jp/>

泉かずやの
あんなこと
こんなこと
更新中



市政に関する要望、相談をお寄せください

☎ 090-8268-0454
 メール : info@izumikazuya.jp
 FAX 0776-53-4659



福井市議会議員

こんにちは！泉かずやです。

福井を 議会を 変える 変える



日頃は、泉和弥の議員活動にご理解ご支援いただき、誠にありがとうございます。2期目の議員活動では医療・福祉や地域交通、人口減少など本市が抱える様々な課題解決のために全力で取り組んでまいりました。これもひとえに皆様の変わらぬご支援のおかげと、心から感謝申し上げます。

3月定例議会では、一般会計1,059億円、総額2,060億円となる31年度当初予算案の各種事業内容や福井市の市政・財政運営を中心に審議しました。

発行：泉和弥事務所

〒918-8231 福井市問屋町1-10 ユニックスビル1F-112

☎ 090-8268-0454 FAX 53-4659 Mail : info@izumikazuya.jp

福井市 平成31年度当初予算案を審議しました。

■中核市の始動・連携中枢都市圏への取り組み・財政再建

31年度から福井市は、中核市になることで今まで県が行ってきた事務を市が直接行うため今までよりも住民目線に立った施策が立てられるようになります。

また嶺北地域全体が連携しながら産業、観光、移住定住、健康福祉など一体的な発展を図る「ふくい嶺北連携中枢都市圏」取り組みも始まります。31年度当初予算は、将来にわたり持続可能な行財政運営を行っていくために事業費の縮減、歳入の確保に取り組み、収支均衡した予算編成と市長は言っています。

3月定例会一般質問（抜粋）

◆泉 本市はこの4月から中核市に移行するわけですが、市長のお考えになっている「中核市に求められる責務」とは何か。

◆東村市長 市民に最も身近な行政機関として市民に寄り添ったきめ細やかな取り組みを行いながら市民への責任をより適切に果たしていかなければならない。また県都として周辺の市町をリードするような先駆的な取り組みを行い全体を牽引していく。



◆泉 市街地再開事業等支援事業は、市債発行額、一般財源額ともに高額であり投資的経費が87億4,103万円と平成30年度より1割ほど増加した要因である。市民生活に直接かわる事業費を減額してでも支援し、まちなかの賑わいを創出できるのか。

◆都市戦略部長 本市としては良好な市街地環境の整備に努めることで、福井市民にとって魅力あるまちとなるよう支援していく。北陸新幹線開業や大阪万博開催を見据えた民間投資が活発にみられるなか、支援することで都市機能が充実し県都の顔にふさわしい県都の顔と賑わいのあるまちづくりを進める必要がある。

◆泉 4年後に迫る北陸新幹線福井開業を見据えた取り組みも大切だが、その2年後の2025年には大阪万博が開催され、近畿圏では万博に向けた準備とその後の跡地利用にむけた計画も進んでいる。大阪に宿泊した国内外のお客さんをこの福井に呼び込む仕掛けづくりも考えておく必要がある。本市と大阪、近畿圏との関係を強化すべきではないか。

◆総務部長 大阪万博は経済波及効果が約2兆円、開催期間中來場者が約800万人といわれている。本市や連携中枢都市圏をPRする絶好の機会ととらえプロモーション活動やまちづくりをしっかりとっていく。

3月定例会一般質問質疑応答（抜粋）

31年度の市税収納率の向上に向けた取り組みについて

◆泉 昨年の財政難が明るみに出た際、福井県は本市の収納率の低さを大きく取り上げ、知らぬ顔をされた。財政再建計画の具体的方策では、個人住民税の特別徴収の推進や口座振替の推進、納税勧奨や指導の早期実施、滞納整理による収納率の向上が掲げられているが、特に固定資産税や都市計画税収納率向上が一つの課題ではないか。

◆財政部長 収納率は近隣の中核市である金沢市、富山市、岐阜市、大津市、4市の平均と同水準にある。今後も現年度市税徴収率向上に取り組んでいく。また未納額全体の6割を占め、課題となっている固定資産税等については弁護士との連携強化や滞納整理の最終手段である不動産等の公売に積極的に取り組むことで対応していく。

要望事項◆泉 市内には386の納税組合があり、約1640万円の納税奨励金が支払われている。口座振替が進み100%口座振替の納税組合にも奨励金が支払われているが、各組合の皆さんには奨励金の意味合いをご理解いただき、福井市納税奨励条例の口座振替部分の見直しをしてはどうか。

平成31年1月からの水道料金・下水道使用料を改定にご理解ください。

福井市の下水道・上水道は、全国の前駆け整備が進んだことから老朽化が進み施設の計画的な改築・更新が必要となっています。一方で、人口減少や節水機器の普及により使用料収入の減少等による厳しい財政状況が今後予測されています。そこで上下水道それぞれに市民の代表者からなる審議会を設置し、私も下水道使用料制度審議会の一員として意見を述べ、検証を進めましたので再度ご説明させていただきます。

なぜ20%の値上げ

- ①福井市は平成36年度まで公共下水道の新規管路整備を進めています。一方で、すでに整備された区域では施設の老朽化が進んでいて維持管理費がかかります。
- ②新規の下水建設工事を行っている間は借入できた資本費標準化債が36年度以降使えなくなるため実質的な借金返済額が増えます。
- ③人口減少などにより今後の利用収入の増加が見込めないため、実質的な借金返済額増加によって赤字傾向が続き、平成36年度には資金残高がマイナスになると予測されます。
※補足※ 福井市では平成9年以来20年間料金の改定・値上げを行っていませんでした。

黒字経営してるのに値上げはおかしい？

あと5~6年は資金残高（家でいう預貯金）が残っているため、もっと後に値上げすべきという考え方もあります。しかしその時の値上げ幅は今以上に高くなります。

人口減少が進む中、まだ利用者の多いうちに使用料を頂いて、将来の人達への負担を少しでも減らしたいと考え、早い時期での改定をお願いするものです。

※県内他市町の料金比較では値上げしても、中間くらいの設定となります。